

《第64回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書》

	書名	作者名	あらすじ
小学校低学年	ルラルさんのだいくしごと	いとう ひろし // 作	ルラルさんのだいくしごととうでまえはなかなかのもの。まどやドアをなおすのなんてあさめしまえ。いすやテーブルだつてつくつてしまいます。きょうのだいくしごとは、あまもりするやねのしゅうり。ところが、しゅうりをおえてやねからおりようとしたら…。
	きみ、なにがすき？	はざがわ さとみ // 作	あなぐまが、にわでともだちのすきなものをつくりたいとかんがえます。でもおもいつくものはみんな、ともだちがもっていて…。ともだちおもいがからまわりりするあなぐまが、やさしいことばにすくわれるおはなし。
	なずずこのっぺ？	カーソン・エリス // 作	「なずずこのっぺ?(なにこれ?)」「わっぱどがらん(さっぱりわからん)」ひとつのはなのめをめぐるこんちゅうたちのにちじょうを、だれもきいたこと、よんだことのないふしぎなオリジナルげんご「こんちゅうご」でつづるえほん。
	がっこうだつてどきどきしてる	アダム・レックス // 文 クリスチャン・ロビンソン // 絵	はじめてのきょうしつ、はじめてのせんせい、はじめてのクラスメート。がっこうだつてどきどきしてるって、していた？ ぴかぴかのあたらしいがっこうといっしょに、どきどきして、せつなくなって、わらえるえほん。
小学校中学年	しま レイナが島にやってきました！	長崎 夏海 // 作 いちかわ なつこ // 絵	しまの4年生はゆうあたり3人だけだったので、女の子が同じ学年にてん校してくると聞いて、ゆうあは楽しみにしていた。でも、その子はちょっとかわっていて…。さとごとして島にやってきましたレイナと島の子どもたちのすてきなお話。
	もり 森のおくから	レベッカ・ボンド // 作	アントニオは、ふかい森にかこまれたみずうみのほとりにすんでいました。ある夏、山火事が起きました。にげる場所はみずうみだけです。その時、アントニオの目の前で思いもよらないことが…。100年ほど前に、カナダでほんとうにあったお話。
	さいご 最後のオオカミ	マイケル・モーパーゴ // 文 黒須 高嶺 // 絵	せんそうを生きのびた少年・ロビーは、ざんにんなイギリスぐんにおわれる。一方、かりでこるされたオオカミには子供がいて…。こじでありとうぼう者であるといううめいでむすばれた、オオカミと少年の友じょうとわかれの物語。
	すごいね！みんなの つうがくる 通学路	ローズマリー・マカーニー // 文	世界中の子どもたちはどうやって通学しているの？ 地しんや台風といったしぜんさいがいや、川の急流、けわしい山道にもまけず、学校に通う子どもたちのすがたをとらえた写真絵本。ノーベル平和賞受賞者マララさんの写真もしゅうろく。

小学校 高学年	ふんとう 奮闘するたすく	まはら 三桃 // 著	小学5年生の佑は、おじいちゃんをデイサービスに連れていくことになった。先生はそこで見たこと、聞いたことをレポートにして提出しなさいと言う。佑は介護される人と介護する人、それぞれの気持ちに気づいていき…。
	いぬ こんぴら狗	今井 恭子 // 作 いぬんこ // 画	飼い主・弥生の病気が治るようお祈りするため、犬のムツキは江戸から讃岐の金毘羅さんまでお参りに出され…。ムツキの往復340里の旅路と、道中の出会いや別れを描く。本当にあった風習を基にした歴史物語。
	ぼくとベルさん	フィリップ・ロイ // 著	10才の少年エディは読み書きができないために、ほんとうは賢いのに、それを証明することができないでいた。そんなエディは発明家・ベルと出会い…。エディとベルの友情の物語。
	クニマスは生きていた！	池田 まき子 // 著	2010年12月、田沢湖で絶滅したクニマスが西湖で発見された。奇跡の魚・クニマスが私たちに問いかける「命のつながり」とは？最後のクニマス漁師だった三浦久兵衛さん・久さん親子の姿を通して描いた感動の物語。
中学校	一〇五度	佐藤 まどか // 著	都内の中高一貫校に編入した、中学3年生の真は椅子オタク。超中学生級モデラーの梨々とタッグを組み、プロダクトデザインの登竜門「全国学生チェアデザインコンペ」に挑む…！椅子デザイナーを目指す少年の、熱い夏の物語。
	太陽と月の大地	コンチャ・ロペス＝ナルバエス // 著	16世紀グラナダ。モリスコ(キリスト教に改宗したイスラム教徒)の農夫の息子エルナンドと、キリスト教徒の伯爵の娘マリアの悲恋を軸に、宗教や民族の違いによってひきさかれ、運命に翻弄される人々をえがく。
	千年の田んぼ	石井 里津子 // 著	秘境の離島に日本最古の田んぼ？ いったい誰が？ なんのために？ 日本海の荒波の向こうに浮かぶ島、山口県萩市見島に刻まれた“奇跡の風景”の謎を解く。見返しに地図あり。
高等学校	わたしがいどんだ戦い 1939年	キンバリー・ブルベイカー ・ブラッドリー // 作	1939年。2度目の世界大戦さなかのロンドン。足の悪いエイダは、けんめいに歩く練習をしていた。歩けさえすれば、弟といっしょに疎開できる！自分らしく生きるために戦う少女と、彼女をあたたく包む村の人たちを描く。
	車いす犬ラッキー	小林 照幸 // 著	交通事故のため自力歩行ができなくなった捨て犬のラッキー。介護が必要な彼を支えているつもりが、支えられていたのは自分だった。「ユイ(結い)」の伝統が息づく徳之島での、犬と人のドラマを通じて、命の意味を問う。
	いのちは贈りもの	フランシーヌ・クリストフ // 著	6歳から12歳まで、ナチスドイツによるユダヤ人迫害(ホロコースト)を経験した著者による手記。平和な生活を奪われ、苛酷な状況に追い込まれていく様子を、子どもならではのまっすぐな視点と透明感のあることばで語る。